



CUBRO Omnia 20

ネットワーク・フォレンジック・アプライアンス

概要

CUBRO Omnia20は中小ネットワークへの配備に適したネットワークアプライアンスです。パッシブタップ機能、10Gインターフェース、オンボードストレージを有し、また様々なソフトウェアオプションを選択可能です。オプションのPacketmaster、Sessionmaster、Appmaster、ソフトウェアライセンスを適用する事で、Omnia20はアグリゲーションTAP、ネットワークパケットブローカー、DPIプローブとして使用する事が可能です。



Omnia20はバイパス機能を持つ1GbE Copper I/Fを8ポートを備えており、各ポートは双方向のタッピング機能に対応しています。また、10GbE SFP+ I/Fを2ポート、1/10GbE SFP I/Fを2ポートを所持し、1GbE Copper I/F 8ポートから10G I/Fに集約して出力できます。筐体はクアッドコア ARMv8 CPU、16GBメモリを実装し、また2TB M.2 SSD、ミニPCIスロット、USB 3.0タイプAコネクタを有し、拡張性と接続性を提供します。

Omnia20は接続されたトラフィックをアグリゲーションし、オンボードストレージに転送する事でパケット解析を行うことが可能です。内蔵のアプリケーションはローリングキャプチャ、WEBShark、nTop、DPI検知、Custosなどの様々な機能を提供します。

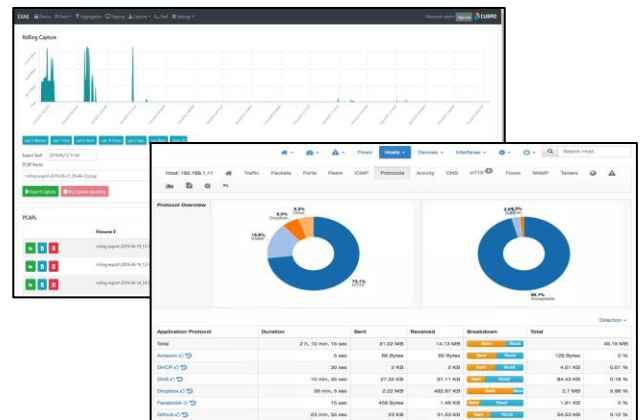
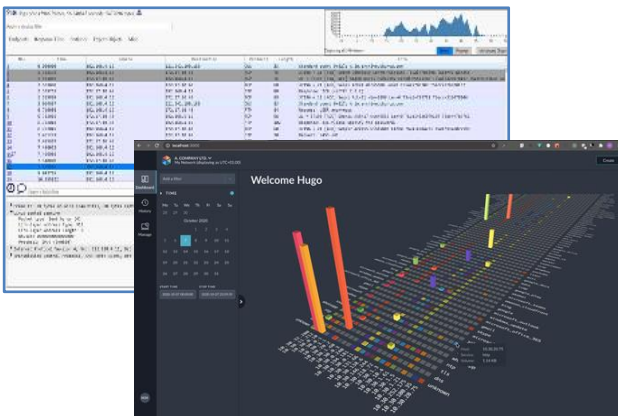
特徴

Omnia ハードウェアの特徴

- 耐久性が高い組込Linuxベースの筐体
- 10/100/1000 Base-T x8 ポート
- 10G BASE-Tを含むSFP/SFP+対応
- ARMマルチコアCPU x2
- CPU毎に16GB メモリ
- M.2 SSD 内蔵
- 1Uのsmallファクタ筐体 (440W x 44.4H x 660D)

Omnia ソフトウェアの特徴

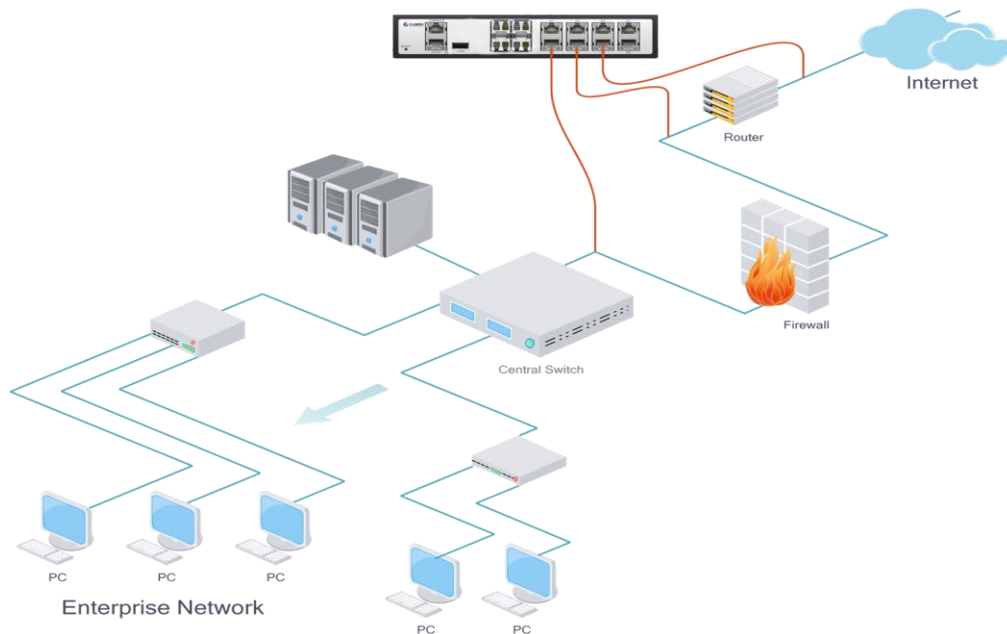
- トラフィックのアグリゲーション、フィルタリング、ロードバランス機能。
- ワンショットのリアルタイムキャプチャ
- 連続データ保存のローリングキャプチャ機能
- キャプチャ時インデックス (時間/IP/port/プロトコル)
- Custosによるネットワーク挙動監視・脅威検知
- WEB解析が可能なWebshark内蔵 (Web版Wireshark)
- 重複排除機能
- 4000以上のアプリケーション識別DPIオプション





CUBRO Omnia 20

ネットワーク監視/保護



製品性能/仕様

| | |
|-----------------|--|
| 機能ポート | 8ポート x10/100/1000 Base-T 2ポート xSFP+ 1/10 Gbit 4ポート xSFP 1Gbit |
| リンク/ポートアグリゲーション | 最大8ポートもしくは4リンク10/100/1000Mbitを2ポート x1/10Gまたは4x1Gbitへ集約 |
| ジャンボフレームサポート | 最大9000byte長のジャンボフレームに対応 |
| キャプチャパフォーマンス | 1518byteフレームで最大4.5Gbit/s |
| アグリゲーションレイテンシ | 64byteフレームで平均700ns |
| 管理ポート | 1 x 10/100/1000 Base-T 1 x RS232 コンソール |
| 管理インターフェイス | WEB GUI |
| 環境性能 | 動作温度：0~40°C、保管温度：-10~70°C 湿度10~95%（無結露）、環境基準：RoHS/ CE 安全基準：UL 60950-1/ CSA C22.2 60950-1-07/ IEC 60950-1 (2005) EN 60950-1 (2006) |
| MFTB | 198,185時間 |
| 寸法、重量 | WxDxH：220 x 330 x 44 mm、2,95 kg |
| 電源、消費電力 | 1 x230V AC、最大消費電力25W |

お問い合わせ



株式会社 **コムワース**
通信機器営業部

TEL : 03-3777-0888 FAX : 03-3772-8497

URL <https://www.comworth.co.jp>

e-mail info2@comworth.co.jp